

質問・提案と答弁

【防災強化委員会】質問・提案



「災害に強いまちづくり」について

東日本大震災や熊本地震、広島市土砂災害などの被災状況を報道で知り、福山市が被災したらどうなるのかと考えた。その結果、「どんな災害が起きても、外国人や観光客も含んで死者が出ないまち」が、災害に強いまちと考えた。

多くの市民に防災を意識してもらうための質問と提案

- ① 福山防災大学や防災リーダーの登録の目的と進捗状況、その効果について。
- ② 子どもが主体の防災イベントを企画してはどうか。

【答弁】答弁者：市長

①地域防災力の向上のため、防災大学を実施しており、知識や技術がさらに向上していくよう防災リーダー登録制度を設けています。2015年度（平成27年度）までの福山防災大学の修了者は220人、福山防災リーダーの登録者数は185人です。福山防災リーダーは様々な活動をされており、講座・研修会の回数が増加し、人材の育成は着実に進んでいます。

②子どもたちが主体となって取り組む防災イベントは、素晴らしい提案であると思います。どこで実施できるか、早速実施に向けて考えていきます。「まちづくりパスポート事業」の活用も、今後の啓発活動の企画で検討してまいります。

【犯罪防止提案委員会】質問・提案の資料

